



「ステップアップ講座 経営セミナー」を開催

平成21年11月19日(木)から12月15日(火)まで、県いわき合同庁舎等を会場に平成21年度「ステップアップ講座経営セミナー」を開催しました。

このセミナーは、確かな経営感覚を身に付けた地域農業の担い手となっていただくため、認定農業者や集落営農組織、女性農業者、青年農業者を対象として実施し、延べ61名が参加しました。

第1回の「複式簿記の基礎」講座からスタートし、「資金管理・資金繰り」、「財務諸表分析の基本」、「確定申告・税制改正の内容」、「パソコン簿記」講座まで5回にわたっての講義のほか、演習も取り入れて実施しました。



各講座は、短時間にも拘わらず、内容が多岐にわたっていましたが、参加者からは、質問も多く寄せられ、最後には、「複式簿記で今まで不明なところが分かった。」、「資金管理、資金繰りの重要性が分かった。」、「税理士から税務に関する内容を聞くことができよかった。」等の意見が聞かれました。

今後、このセミナーが地域農業の担い手である参加者たちの経営改善に大きく寄与することが期待されます。



「鉢花品評会」が開催されました。

平成21年12月1日(火)、(株)いわき中央生花といわき花き鉢物研究会の共催による「第12回いわき市中央卸売市場花き部鉢花品評会」が開催されました。

この品評会は、鉢花の一層の需要拡大と生産の振興を図ることを目的に毎年開催されているもので、いわき市を始め、県内や栃木、茨城等の近県から、シクラメン、ポインセチア、ラン類など160点が出品されました。

県や市、JA、販売業者からなる審査員が、花数などのボリュームや全体のバランス、商品性などを審査した結果、陽光園(相馬市)から出品されたシクラメンが福島県知事賞に選定されました。多くの作品が並ぶ中、市内から出品されたシクラメンも銀賞を受賞し、そのレベルの高さを見せる結果となりました。



花き類は品種改良が進んでおり、多彩な色や形、香りのあるものなど、たくさんの品種が栽培されています。ぜひ、お近くの花店にお立ち寄りになって、バリエーション豊富な花きの世界をお楽しみください。



「いわき地域6次産業化推進のための懇談会」を開催

平成21年12月3日(木)、県いわき合同庁舎において、いわき地方振興局及びいわき農林事務所の主催による「いわき地域6次産業化推進のための懇談会」を開催しました。

この懇談会は、農商工連携や農林水産業の6次産業化等を積極的に推進していくため、いわき地方における課題の共通認識や、積極的な取

組みをしている方の情報交換の場を作ることを目的に行いました。

はじめに、「県内における6次産業化の現状」について農林水産部畠政策監から説明が行われました。

次に、「いわき地域における6次産業化の取り組み」と題して、(有)とまとランドいわきの元木専務取締役、(株)いわきチョコレートの柳沼代表取締役、いわきいきいき食彩館スカイストアの松崎実行委員長からそれぞれ事例発表を行っていただきました。出席者は、連携を行って行く上でのヒントとすべく、熱心に発表を聞いていました。

その後、「6次産業の推進」をテーマとした意見交換会を行い、座長である東日本国際大学の川信行教授の進行の下、出席者それぞれの立場から、6次産業に対する考えや現在の取り組み内容について意見交換が行われ、「連携先の見つけ方がわからない」、「指導者や加工所が欲しい」といった連携するに当たっての課題等が提起されました。



「農業生産現場・施設等視察研修」を開催

平成21年12月7日(月)、磐城農業高校園芸科1年生の生徒39名を対象に、いわき市中央卸売市場等で「農業生産現場・施設等視察研修」を開催しました。

研修先として市場の他、いわき市フラワーセンター及び農事組合法



人大野水耕生産組合を視察しました。

この研修は、農業高校生徒が地域の農業生産現場、農業施設等の視察研修を通して地域の農業・農村に対する理解を深め、次代を担う若い農業担い手を育成・確保することを目的としており、参加した生徒たちは、最新の施設園芸及び農産物流通の仕組みについて理解を深めていました。

特に、普段消費している農産物が、国内はもとより広く世界各地から供給されていることを知って驚き、見慣れない熱帯植物、クリーンエネルギー関連施設等に対しても興味を示し、将来の進路選択を意識し始めた様子でした。

今後、2月下旬には、フラワーアレンジ実習及び農業青年クラブ会員との意見交換を行って、就農への動機付けを図る「フレッシュ農業ガイド講座」を開催する予定です。



「米飯給食モニター校実践事業」が実施されました。

平成21年12月8日(火)、県が定めている「ごはんの日」にあわせ、今年度の米飯給食モニター校のいわき市立川部小学校において、2回目となる『生産者と児童の交流会』及び『給食試食会』が実施されました。

米飯給食モニター校実践事業は、県産米の米飯を中心とした“地産地消モデル型給食メニュー”の開発と実践を行い、その成果を県内小中学校等へ波及させ、「食育」を通じた郷土愛の醸成や県産食材の供給システムの実現を目指しています。

『交流会』は5年生を対象に行われ、主菜の「いわき鮭の福福チャン焼き」にちなみ、漁業者である勿来町の渡邊徳二さんをゲストティーチャーに招いて、総合学習の一環として実施されました。勿来漁港に関する話や漁



船・漁具の話、鮭は“さし網漁”によって捕っていることなどについて、写真や模型を使ってわかりやすく授業が進められました。

『試食会』では、児童と出席した関係者が机を並べ、一緒に“地産地消給食”を味わいました。



“ごはん”が5年生自らが総合学習で栽培した「あかつき」だったこともあり、稲作体験の話や普段の給食の話、学校生活など様々なことについて会話が交わされ、とても楽しい時間となりました。

に作業に取り組んでいました。

最後に、北尾氏や教諭たちとともに皆で食しましたが、普段は小豆（餡類）は食べないという生徒も残さず食べていて、自分で栽培したり、調理したりすることを通して、“食べる”ということについて改めて考えることができた活動となりました。



「集落営農ミュージカル」が公演されました。

平成21年12月10日（木）、いわき芸術文化交流館アリオスにおいて、いわき市地域担い手育成総合支援協議会主催、いわき農林事務所等の共催で「劇団ぜんとうようくらぶ」による『集落営農ミュージカル』の公演が行われました。

いわき市での公演は、劇団代表の志村尚一氏による講演を含めて4回目ですが、今回の集落営農ミュージカルは、「第2弾 今こそ農業・農村がキラめく時～やってよかった、集落営農を生かした地域づくり～」と題して行われ、会場は、認定農業者、集落営農組織、中山間集落、JA女性部など500名を超える観客で一杯となりました。



上演内容は、集落での様々な問題のほか、集落営農の取り組みにより生じた課題について、志村氏がわかりやすく解説を行い、それに合わせた歌と踊りを劇団員が演じました。

観客たちは、集落営農について一層の理解を深めるとともに、公演内容を身近な出来事と感じながら観劇していました。

県立いわき養護学校で「食育活動」が実施されました。

平成21年12月10日（木）、県立いわき養護学校において、中学部3年生が行っている食育活動『食に関する交流会』が実施されました。今回は3回目の活動で「小豆のケーキ作り」を行いました。

講師を務めたのは、いわき地方における地産地消や食育活動において、農林事務所のボランティア



として協力をいただいている北尾博水氏（フランス料理シェフ）です。

「ケーキ作り」は、今年、中学部3年生が自分たちで栽培した小豆を使って行われ、炊いて餡にしたものをカスタードと生クリームと混ぜ合わせた“あずきクリーム”としてスポンジの間に挟み、ホールケーキとして完成させました。

生徒たちは、飾り付けのイチゴを切ったり、生クリームを手作業でホイップしたりと積極的



「ブロッコリー現地検討会」を開催

平成21年12月18日（金）、平下神谷地内において、ブロッコリー栽培者および関係機関担当者42名の参加により、ブロッコリー現地検討会を開催しました。

まず、フェロモン剤“コンフェューザーV”の導入による化学農薬削減効果と農薬飛散防止効果について説明を行いました。参加者たちは、慣行防除の実施ほ場よりも害虫による食害が少ないブロッコリーの生育状況を見て、フェロモン剤による害虫の交信攪乱効果（オスがメスを見つけられず、次世代が増加しない。）を実感した様子でした。

また、機械化・省力化体系導入による規模拡大を進めるため、移植機による定植を実演し、作業スピードや定植の状況を研修しました。併せて、規模拡大を図るため、12月以降の出荷が可能となる作型を増やすことの重要性につい

て説明を行い、参加者たちからは「移植機の使い勝手はどうか。」「1～2月に収穫する品種は何か良いのか。」等の質問が出されました。

さらに、JAいわき市からは、値決めによるコンテナ出荷が紹介され、収穫作業の省力化と所得計算が可能なブロッコリー作りが提案されました。

この検討会を通して、農薬の適正使用の認識が深まるとともに、いわきの温暖な気候を活かした12月～2月まで収穫が可能な作型への関心が高まりました。



今後もしわき農林事務所では、ブロッコリーの出荷期間の長期化のほか、規模拡大や新規栽培者の育成・確保に取り組んでまいります。

いわき農林事務所からのお知らせ

◎ 田んぼの学校引継式・終了式

期日：1月26日（火）13：00～ 会場：いわき市立夏井小学校

◎ いわき農林事務所管内安全推進協議会安全パトロール

期日：1月29日（金） 8：50～ 会場：いわき建設会館他現地

◎ ふるさと誘致と連携した地域産品づくり事業（加工体験）

期日：1月30日（土）10：30～12：00 会場：いわき市立貝泊小中学校

◎ いちご「ふくはる香」を知る“冬のミニ旅”

期日：1月30日（土）、31日（日）9：00～12：00 会場：平菅波地内他

◎ 第2回いわき農業普及推進懇談会

期日：2月16日（火）13：30～16：00 会場：県いわき合同庁舎

◎ 第2回農業普及指導活動外部評価懇談会

期日：2月23日（火）13：30～16：30 会場：県いわき合同庁舎

☆引き続き福島県インフルエンザ対策本部からインフルエンザ流行警報発令中です。
手洗い、うがいなどの予防対策を十分に行いましょう。

◎ 皆様からのご意見・情報をお待ちしております。

福島県いわき農林事務所 企画部 地域農林企画課

〒970-8026 いわき市平字梅本15番地 Tel (0246)24-6197 Fax (0246)24-6196

URL <http://www.pref.fukushima.jp/norin-iwaki/>

E-Mail iwaki.nourin@pref.fukushima.jp



iwaki.nourin@pref.fukushima.jp

